

16 ラップサイレージを利用した簡易バンカーサイロ

キーワード	バンカーサイロ、ラップサイレージ
担当	岩手牧場 飼料課
連絡先	電話：019-641-2130 ファックス：019-641-4725 電子メール：nlbc_iwate@nlbc.go.jp

1 背景・ねらい

牧草やトウモロコシのサイレージをバンカーサイロに詰め込もうとした際、サイロの容積が不足し、詰め込み材料が残ってしまうような場合があります。

このような場合、残ってしまった材料をトレンチサイロ方式で調製する方もいらっしゃいますが、品質保持に不安があります。

そこで、緊急の対応として、在庫のラップサイレージを側壁代わりに利用したバンカーサイロを簡易に設置する工夫を考案しました。

2 内容・特徴・効果

作成方法は次のとおりです。

- ① 先ず、一般的に普及しているラップサイレージをバンカーサイロの側壁の代わりに並べます。
- ② 全体を覆うようにブルーシートを被せ、その上にビニールシートを重ねます。
- ③ ビニールシートの上にサイレージ材料を堆積して密封します。
- ④ 密封後に、ラップサイレージを重石として載せます。

ラップサイレージは、一般的に普及しているサイズであれば、1個当たりの重量が400kg前後ありますので、トラクター等で踏圧作業を行っている最中に、ずれて動くようなことはありません。ただし、側壁替わりのラップサイレージは、いずれ給与する必要があることから、簡易バンカーサイロのサイレージは、他のサイレージよりも優先して給与する必要があります。



写真1 サイレージ材料の堆積作業



写真2 ラップサイレージを重石として利用

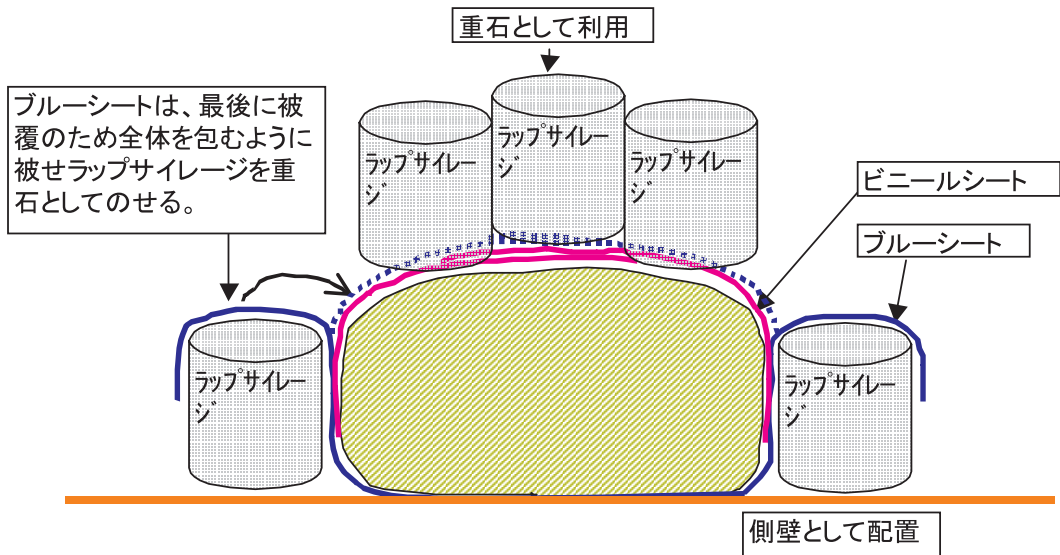


図1 簡易バンカーサイロ断面図（正面）

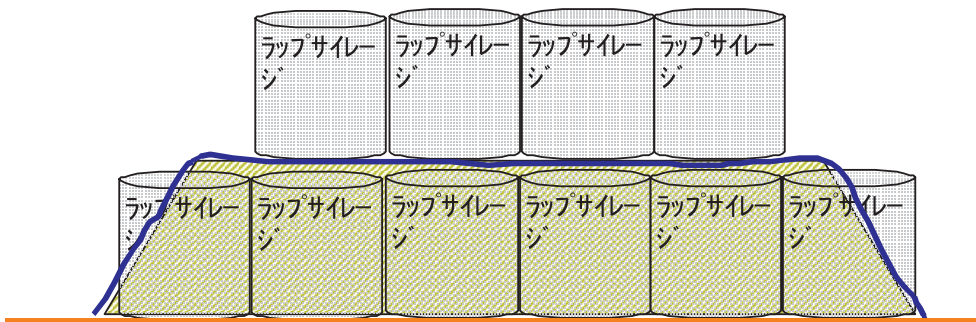


図2 簡易バンカーサイロ断面図（側面）

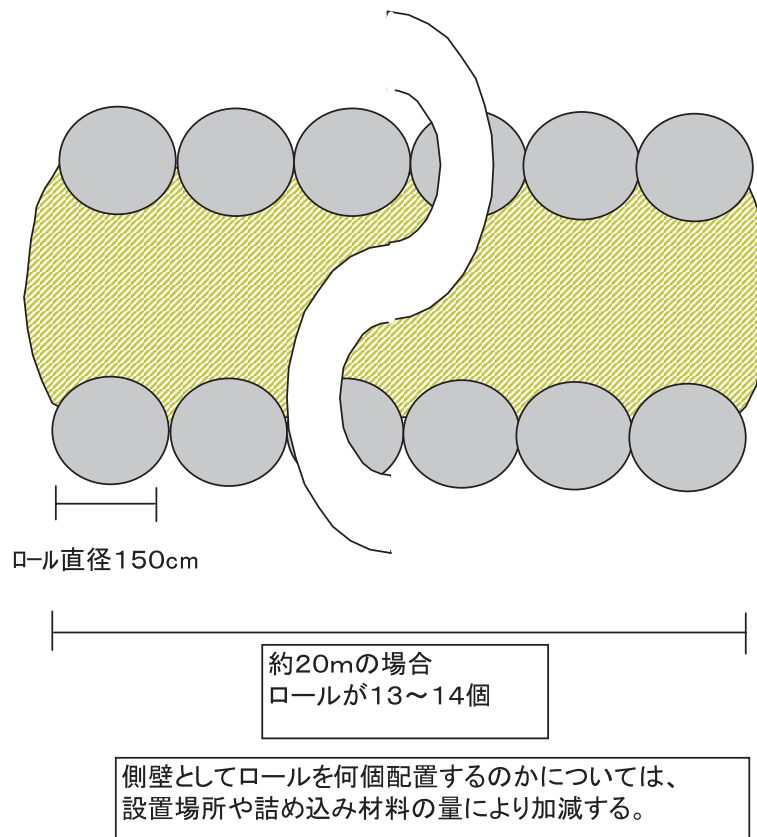


図3 簡易バンカーサイロ・ロール配置図（平面）

側壁として使用するロールの個数は、設置場所や詰め込み材料の量により決定する。